



# マルト便

MARUTO INFORMATION

ホームページが新しくなりました

マルト商事

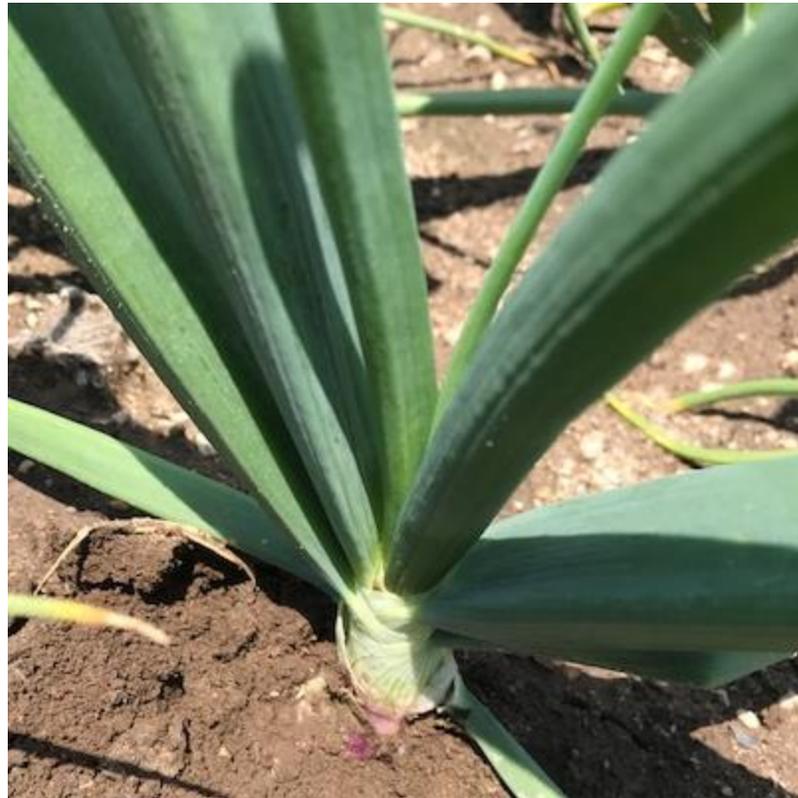
検索

お客様の笑顔のために...

チャレンジ

7月号 JUL 2017

<http://www.maruto-shoji.co.jp>



2017年6月22日北見地区 赤玉葱もうっすらと色がついてきています！

## 7月の天候が勝負です！！29年北海道産玉葱

6月29日に気象庁より1ヵ月の予報が出ました。我々が一番気になるのはやはり北海道の天気です。7月・そして8月上旬までの1ヵ月が今年の北海道産玉葱の出来不出来を決める最も重要なタイミングです。6月の北海道は雨、曇天が多く低温傾向での推移でした。5月定植から順調に推移した玉葱生育ですが若干停滞したように思います。しかし進んでいたのが平年並みになった程度で問題は無いと考えています。ここから先怖いのが「雹」と「高温」です。北海道では6月20日から7月上旬にかけて雹が降る確率があがります。雹の降る仕組みはいわゆる積乱雲が出来る仕組みと同じです。地上と上空の気温差が大きくなると上昇気流が発生し、積乱雲が出来ます。その中で氷の粒が上昇・下降を繰り返して大きな氷の粒となり地上に落ちてくるのが雹です。7月上旬の玉葱は肥大期に入り始めます。その時期に雹が降ると葉や肥大し始めた球に傷がつき、結果としては成長が止まってしまいます。6月後半から7月上旬にかけては気温差が大きくなるため、雹が発生する確率も高くなるのです。また、気温も25℃を超えて高温が続くと病害虫の発生が増えるのもそうですが、玉葱自体の生育も止まってしまいます。そうすると肥大が完了する前に倒伏が始まってしまいサイズが乗らないで収穫を迎えてしまいます。

冒頭に戻るのですが、気象庁の北海道地方7月の天気予報としては、前半において高い確率で高温となる見込みと出ています。日照時間・降水量は平年並みとの予報です。急な気温上昇で雹が降らないことを祈るばかりです。

6月20日から3泊の予定で北海道を訪問してきました。玉葱を中心とした北海道農作物の生育状況確認です。昨年台風の影響により大きく減産となった馬鈴薯の圃場も見学してきました。

旭川から北見へと道すがら作物を見ながら、また生産者様を訪問しながら移動しました。21日の段階での生産者様もお話していたのは、「もう雨はいらない」ということでした。6月は上述の通り雨が少なく低温傾向でした。その為、地温が上がらず生育も停滞。また雨が多かったことから「水ヤケ」と呼ばれる

症状が玉葱やビート、馬鈴薯などに見受けられました。水ヤケとは畑に水が溜まってしまい、その影響で根にダメージを与え、生育が滞り、結果、葉も黄色く焼けたようになる状況のことをいうようです。光合成が出来ず枯れてしまうような場合もあるそうです。

北海道が抱えている玉葱の生産面積からすると極一部の圃場となるのかもしれませんが、見た目には少し心配な景色でした。しかし、大勢としては現在のところ平年並みの生育となっており、多くの生産者様は豊作傾向であろうと予測を口にしていました。あとは雹害がないことを祈るばかりです。

今年は7月に入っても28年産の北海道玉葱を使用しています。冷蔵貯蔵を行っていたものです。加工歩留こそ若干落ちてきてはいますが、品質面では問題ありません。仮に7月一杯の使用が可能となると、ほぼ周年北海道産玉葱でお客様に商品をお届けすることができるようになります。先日の農業新聞にも掲載されていましたが、道内農協も北海道産玉葱の周年供給に取り組んでおり、実際に今年からスタートしているようです。北海道の一作で一年間の玉葱供給方針が決まってしまうというのも怖いですが、用途の適正をしっかりとお客様にご説明をさせて頂き、周年での北海道産玉葱の取扱いは弊社としても進めていきたいと考えています。

本年は過去2年の反省を活かし、多くの契約産地様にご協力を頂いています。マルチ商社の現在の最重要課題は産地様との取組の強化です。一口で「剥き玉葱」といっても、時代とともにニーズは変わります。加工の方法が変わったり、お客様の用途が変わったり。そういった意味では我々と産地様の取組の仕方も変わっていかねばならないところもあるかと思えます。良いところは残し、ミスマッチのところは改善する。そして常にお互いが良くなるように、軸はぶらさずにブラッシュアップし続けなければ生き残ることはできないのが今の時代なのではないでしょうか。現状に胡坐をかかず常にベストを目指して取組を進めていきたいと思えます。



## 営業課長中村のマルチ便PLUS! Ver2017

今月もどうぞよろしくお願ひいたします。  
7月のマルチ商事玉葱産地情報&見通しをお届けします！



取扱産地	産地状況 & 今後の見通し
国産	府県の中心産地は群馬県産終盤となり、このあと愛媛、宮城が中心となります。品質は昨季と比べると良く、芯腐れ等の不良が少ないです。冷蔵保管もしながら、良品をお届けします。北海道産もトライアルで使用していますが、7月中旬で終わりになります。
中国	品質良好、入荷順調です。山東省の昨付面積は減りましたが生育は平年並み。この時期には珍しく韓国の買いが入っていることと、数年続く残留農薬問題が価格高騰リスクですが、現状安定です。次産地甘肅省は今のところ順調です。
NZ(黄玉、赤玉)	NZ産玉葱は、赤、黄ともの品質良好です。引き続き良品をお届けいたします。

※本記事に関するご要望・改善等ございましたらお気軽にご連絡ください。  
お問い合わせはコチラ⇒TEL049-258-5315